

科目名	デザイン実習 1 A							年度	2025
英語科目名	Design Practice 1A							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	氏田 治久	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
【科目の目的】									
ペーパーナイフ制作とパッケージ制作を通して、プロダクトデザインの基礎スキルを習得する。ペーパーナイフ制作では、スケッチやモデリング、試作などのスキルを、パッケージ制作では、コンセプト設計やデザイン、プレゼンテーションなどのスキルを身につける。、単に見た目が美しいものをデザインするだけではなく。機能性や使いやすさ、安全性、環境性など、さまざまな要素を考慮してデザインを行う。									
【科目の概要】									
プロダクトデザイナーとしての基礎力を身につけることを目的とした科目で、ペーパーナイフ制作とパッケージ制作を通して、スケッチ、モデリング、試作、コンセプト設計、デザイン、プレゼンテーションなどのスキルを身につける。									
【到達目標】									
A. 技術力/課題内容と表現特性に合わせた制作技術や素材について理解し、実践できるようになる B. 思考・発想力/課題条件に合わせた論理的思考に沿った、効果的な表現ができるようになる C. 企画力/複数のアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証をし立体構造の理解を深める D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける									
【授業の注意点】									
クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し表現を丁寧にしている	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し制作している	素材の工夫が必要と考えアイデアを立体表現している	素材の工夫が必要と考えているが、形として不十分	制作工程や素材の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件を考え表現内容を工夫し、素材を活かした制作をしている	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、丁寧に制作している	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、制作している	課題条件に合わせた表現内容を制作しているが、形になっていない	課題条件に合わせた表現内容についての理解が不足している				
到達目標 C	立体構造や素材を理解し、描画材を活かして丁寧に制作している	立体構造や素材を理解し、丁寧に制作している	立体構造や素材を理解して、制作をしている	立体構造や素材を理解はしているが、制作への反映が不足している	立体構造や素材を理解と、制作への反映が不足している				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】									
課題ごとに資料を用意する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン実習 1A				年度	2025
英語表記		Design Practice 1A				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ペーパーナイフ制作	ガイダンス、課題スケジュール	1	ガイダンス	授業の流れの理解	2	
			2	ペーパーナイフとは	ペーパーナイフについての理解		
2	ペーパーナイフ制作	企画立案、リサーチ	1	市場調査	テーマに関する情報を収集できる□	2	
			2	ラフスケッチ	デザイン提案		
3	ペーパーナイフ制作	デザインラフ作成	1	アイデア提案	ラフスケッチにて提案を形にすることができる	2	
4	ペーパーナイフ制作	デザイン制作	1	アイデア提案	ラフスケッチにて提案を形にすることができる	2	
			2	作業時間	厚紙等使用しサイズ確認や形のバランスを検討し試作を制作する		
5	ペーパーナイフ制作	デザイン制作	1	作業時間	厚紙等使用しサイズ確認や形のバランスを検討し試作を制作する	2	
6	ペーパーナイフ制作	デザイン制作	1	モック制作	ブナの木の加工方法や工具について理解する	2	
7	ペーパーナイフ制作	プレゼンテーション	1	プレゼンテーション	自身が作成したものを相手に伝えることができる	2	
			2	作品提出	作品を提出することができる		
8	ペーパーナイフパッケージ制作	企画立案、リサーチ	1	市場調査	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2	アイデア提案	ラフスケッチにて提案を形にすることができる		
9	ペーパーナイフパッケージ制作	デザインラフ作成	1	アイデア提案	ラフスケッチにて提案を形にすることができる	2	
10	ペーパーナイフパッケージ制作	デザイン制作	1	アイデア提案	ラフスケッチにて提案を形にすることができる	2	
			2	試作制作	サイズや耐久性の検討と理解をし試作を制作することができる		
11	ペーパーナイフパッケージ制作	デザイン制作	1	試作制作	サイズや耐久性の検討と理解をし試作を制作することができる	2	
12	ペーパーナイフパッケージ制作	デザイン制作	1	素材について	紙の種類/プラスチックの加工法の理解	2	
			2	試作制作	サイズや耐久性の検討と理解をし試作を制作することができる		
13	ペーパーナイフパッケージ制作	デザイン制作ボード制作	1	モック制作	アイデアを形にできる力を身に付ける	2	
			2	プレゼンボード制作	相手に伝わりやすい内容と写真の構成を身に付ける		
14	ペーパーナイフパッケージ制作	デザイン制作ボード制作	1	モック制作	アイデアを形にできる力を身に付ける	2	
			2	プレゼンボード制作	相手に伝わりやすい内容と写真の構成を身に付ける		
15	ペーパーナイフパッケージ制作	プレゼンテーション	1	プレゼンテーション	自身の作品を相手に伝えることができる	2	
			2	作品提出	作品を提出することができる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							